

経営比較分析表（平成28年度決算）

神奈川県 平塚市

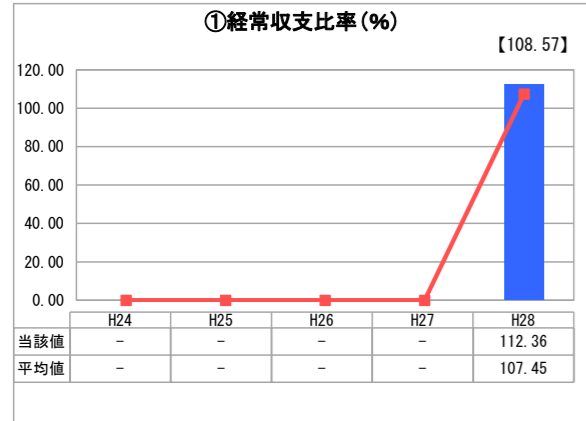
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	63.32	97.44	88.35	1,998

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
257,373	67.82	3,794.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
250,531	34.86	7,186.78

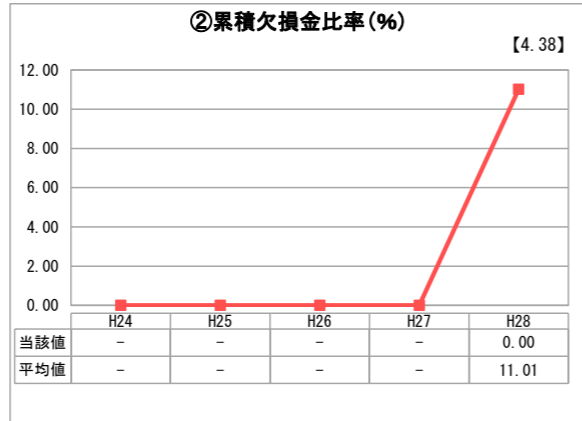
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

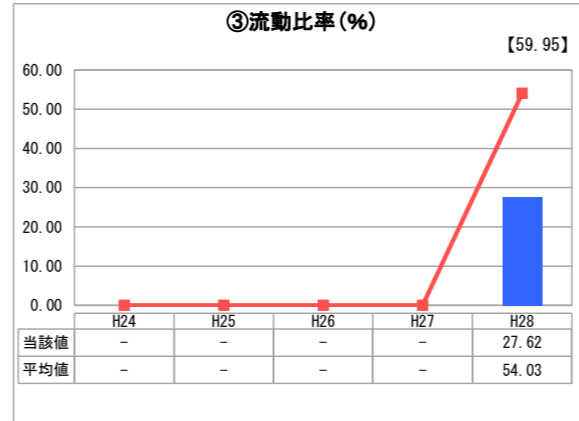
1. 経営の健全性・効率性



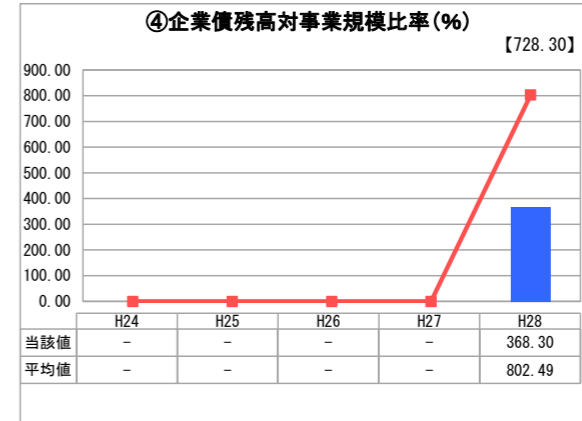
「経常損益」



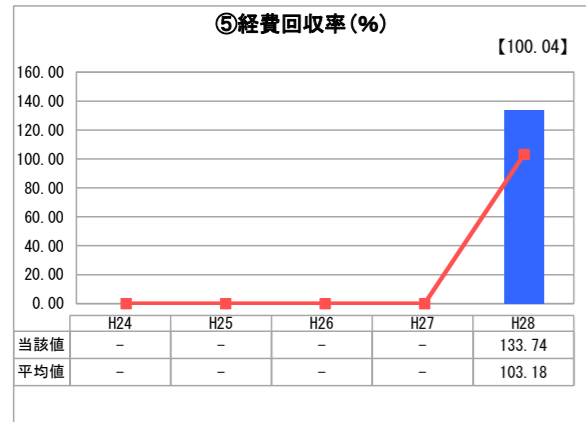
「累積欠損」



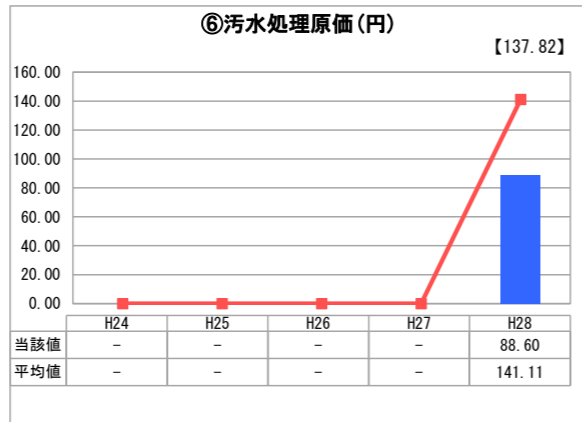
「支払能力」



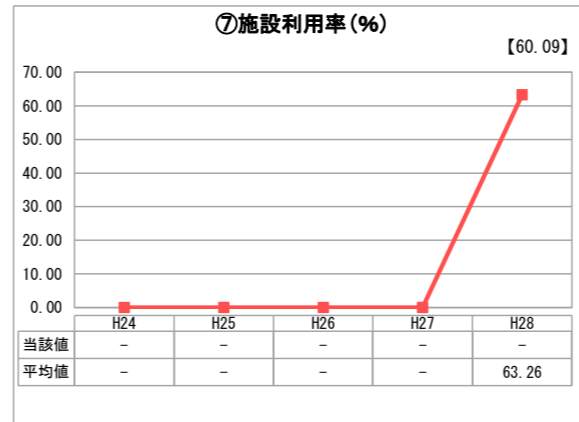
「債務残高」



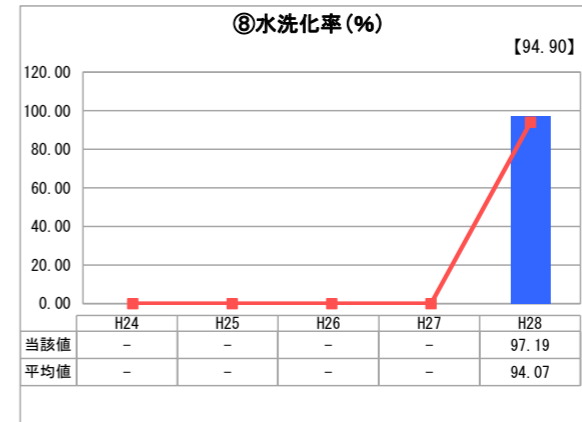
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

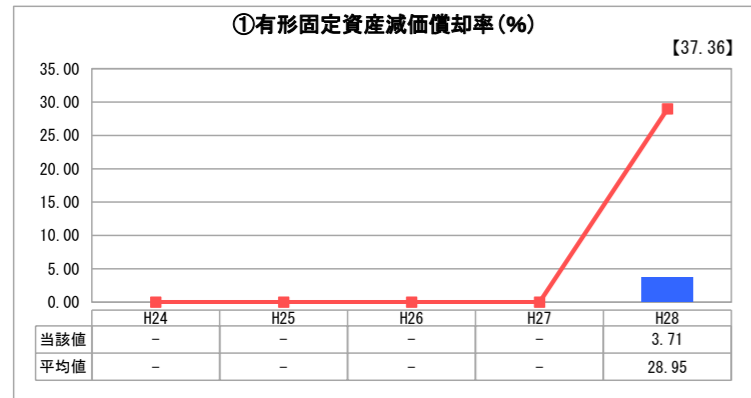


「施設の効率性」

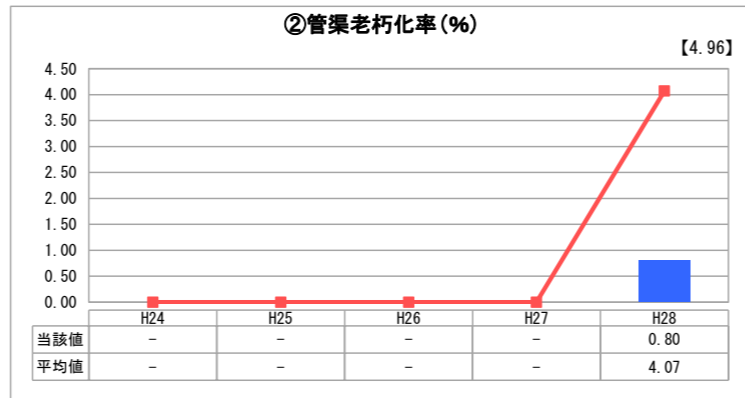


「使用料対象の捕捉」

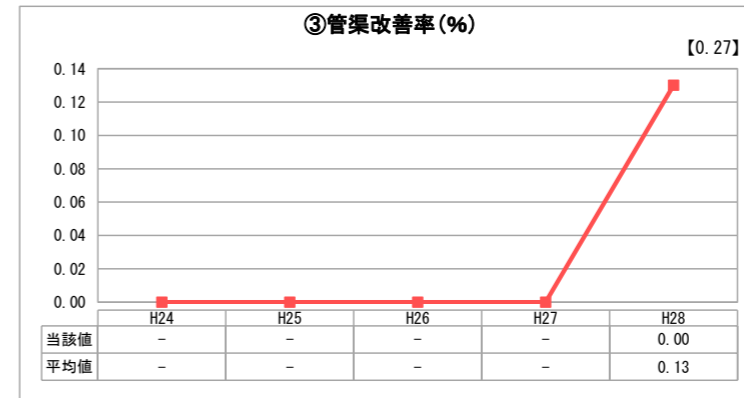
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度から地方公営企業法の一部適用（財務規定等）を開始し、公営企業会計となりました。経常収支比率は100%を超えており、単年度の収支は黒字となります。また、全国平均及び類似団体平均値も上回っています。累積欠損金はありません。

流動比率は全国平均及び類似団体平均値よりも低くなっています。

一方で、水洗化率や企業債残高対事業規模比率は全国平均や類似団体平均値よりも良い状況です。経費回収率及び汚水処理原価は、全国平均及び類似団体平均値より良くなっていますが、資本費を回収しきれないことを考慮した場合は、全国平均に近い値になるという分析もしています。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は全国平均及び類似団体平均値より低くなっています。これは平成28年度から地方公営企業法を適用し、公営企業会計となった事によるものです。今後は減価償却が進み、有形固定資産減価償却率は上がっていくので推移を把握していきます。

管渠老朽化率についても、全国平均及び類似団体平均値より低くなっていますが、法定耐用年数を経過した管渠があるので、老朽化対策が必要な管渠等の優先順位をつけ、引き続き効率的な資産の更新及び改築をする必要があります。

全体総括

現時点の指標からは比較的健全な経営状況といえます。しかし、今後は管渠等施設の老朽化が進み、資産の更新にかかる費用の増加が見込まれるため、将来的には現状より厳しい経営状況に推移していくと思われます。ストックマネジメントや経営戦略の策定を進め、資産の更新サイクルや経営課題の把握をし、適正に経営を続けていく必要があります。

また、平成28年度から地方公営企業法の一部適用（財務規定等）を開始し、公営企業会計となりました。今後は損益計算書や貸借対照表等の財務諸表から状況を分析するとともに、平成29年度以降は経営比較分析表の各項目における推移も長期的に把握と分析を行い、経営の効率化を進めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。